

自然災害アンケート調査 集計結果 2024

【調査概要】

調査目的 : 職員の防災・減災意識の醸成、命を守る取り組みの推進
業務継続計画（BCP）の見直し

調査方法 : オクレンジャー使用によるアンケート調査

調査日 : 2024年11月13日～2024年11月17日

調査対象者: 職員 100名

質問1	自然災害に対して不安があるか？	YES 98%	NO 2%
		家族の安否	98%
		ライフラインの確保	75%
		食料品の確保	72%
質問2	自然災害発生時の心配事は？	トイレの確保・対策	70%
		通信手段	61%
		家屋の被害	73%
		その他	7%
	（その他）自分の命、国の存亡、治安、利用者の安否、ペットの居場所、知人の安否 再建までの生活、資金、心身の不調、就労の継続、避難方法、避難場所		
質問3	ハザードマップで自宅や会社周辺のリスク確認 をしているか？	YES 75%	NO 25%
質問4	災害時の行動を家族や身近な人と話し合っ ているか？	YES 68%	NO 32%
質問5	自宅で防災・減災対策に取り組んでいるか？	YES 67%	NO 33%
		食料備蓄	50%
		防災グッズ準備	43%
		家族と連絡方法確認	31%
		避難ルート確認	24%
		非常時の集合場所	29%
質問6	「はい」と答えた方の対策は？	避難時持出品用意	27%
		保険確認・見直し	8%
		近所づきあい	8%
		家具の固定	9%
		耐震診断・改修工事	2%
		その他	2%
	（その他）安全な場所への駐車、雨水タンクの設置。家の周囲の片付け、大きな木の枝 払い、翌日まで風呂水を捨てない、半分になったらガソリンや灯油の給油、 ローリングストック、講演会・訓練への参加		
質問7	災害用伝言ダイヤル（171）を体験利用したこ とがあるか？	YES 10%	NO 90%

質問 8	災害用伝言ダイヤル (web171) を体験利用したことがあるか？	YES 5%	NO 95%		
質問 9	台風・大雨情報の入手手段は？	テレビ	86%		
		ラジオ	21%		
		Internet News	80%		
		SNS	43%		
		防災アプリ	23%		
		気象庁 HP	13%		
		国土交通省 HP	5%		
		地方公共団体 HP	7%		
		防災無線	13%		
		その他	1%		
	(その他) 知己				
質問 10	避難決断の情報は？	緊急安全確保 (Lv.5)	11%		
		避難指示 (Lv.4)	45%		
		高齢者等避難 (Lv.3)	14%		
		大雨洪水注意報 (Lv.2)	4%		
		早期注意情報 (Lv.1)	2%		
		自宅周辺での危機	12%		
		近所の人の避難切迫	11%		
		その他	1%		
			(その他) 決めていない、犀川と千曲川流域の地質 (吸水状況)、犀川と千曲川流域の水位・降水量 (現在・未来予測)、令和元年東日本台風の降水量との比較、根拠ある数字		
		質問 11	自然災害の記憶や防災教訓が忘れがちになっていると思うか？	YES 81%	NO 19%
	災害経験を踏まえ用意していた方がよいモノやコトがあるか？	回答者	25%		
質問 12	(モノ)				
	手動ラップ式簡易トイレ、簡易トイレ、スポットクーラー、電気自動車、ソーラーパネル付発電機、防寒用具、段ボール、飲食料品 (非常食含む)、スマートフォン、携帯用充電器、内服薬、お薬手帳、衛生用品、あかり (懐中電灯など)、乾電池、軍手、マスク、カセットコンロ、ガスコンロ、ラジオ、電源不要なストーブ、煮炊き可能なストーブ、調理器具、畑と種、家族写真				
	(コト)				
	平時の備え (心構え)、防災意識の向上、避難ルート情報、参集時の安全なルートの情報、家族との連絡方法の確認、避難先への移動の訓練、災害前に車のガソリン・灯油の補充、個人ロッカー内に飲料水ストック、171 を会社の電話番号で活用、広域的な降水量と大小河川状況の把握、災害を「自分事化」として捉える、国・自治体への提言、国政選挙への所属職能団体候補者の擁立				